Public Relations Magazine of National Universities

協広報誌

国大

vol.

38

September 2015 Quarterly Report

脇口

知県知事

阿正直

)pinion [対談]

特集地方創生

国立大学協会

The Japan Association of National Universities

13

今、学生は!

琉球大学 香川大学 滋賀大学 金沢大学 新潟大学

信州大学/オンデマンドリメイク

室蘭工業大学/太田哲平さん 富山大学/宮澤有紀さん 岩手大学/清水栄作さん



t C o nten

3 Episode 2

Episode 1

特集

人づくり・価値づくりのまちへ。

北九州の未来を見据えた地域連携型産業人材育成

専門教育とプロジェクト・マネジメント教育の融合で

5

三重大学

地域を担う次代のイノベーターを育成する。

Opinion [対談] 高知県知事

尾﨑 正直

脇口 高知大学長

I 宏

11

発見! 国立大学

小樽商科大学

岩手大学

東京外国語大学



大協 т O P ı

税制改正を要望 しました。 の予算措置、税制改正を求める要望書を提出 国立大学による自律的な改革を推進するため 橋副会長等が、下村文部科学大臣を訪問し、 8月6日(木)、里見会長、永田副会長、髙

下村文部科学大臣に予算

○予算要望事項

2. 国立大学附属病院に対する財政的支援の確 1. 国立大学法人運営費交付金の確実な措置

3. 国立大学の教育研究の基盤となる施設・設 備の整備

保·充実

4. 各種競争的資金の安定的確保・使い勝手の 向上と間接経費の拡充

6. 主体的・戦略的な大学改革を後押しする制 5. 科学研究費補助金予算の確保と基金化の推 度改革・規制緩和の推進

8: 若手及び女性の教員・研究者の育成支援 7. 学生に対する経済的支援の拡充 10. 地域再生・活性化の中核的拠点としての大 9. 大学の国際化とグローバル人材育成の推進

11: 高等教育予算全般の拡充

学の取組に対する支援の充実

下記の内容については国大協ホームページ(http://www.janu.jp/)からもご覧いただけます。

○税制改正要望事項

・国立大学法人への個人寄附について所得控 除・税額控除選択制度の導入

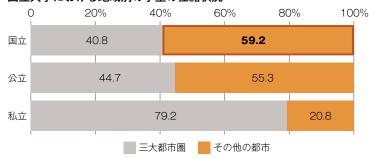


「2・07」。 これが先進国の人口

創 生 。

国立大学では、地域の幅広いニーズに対応した教育・研究、人材育成の拠点として、多様な役割を担っている。文部科学省によれば、全体の約6割の学生が三大都市圏以外で学んでいる。

国立大学における地域別の学生の在籍状況



(注1)学部学生及び大学院生を対象とする。

(注2) ここでの「三大都市圏」は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、岐阜県、 三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県とする。

(出所)文部科学省『学校基本調査』(2014年)より作成

また、 惹きつける魅力をさらに磨くことに ることによって地域を豊かにし、 を示します。 やその時こそ「地方」の国立大学が存 は消滅するほかないのでしょうか。 かなければなりません。では、「規模の ることになります。 ちなみに日本の合計特殊出生率(その社 の、女性が産む子どもの数)の現状です。 出生率(人口を維持するのに必要な水 この時代の先端を歩もうと挑 本質であろうと考えます。本号では と」の創生です。これが今日(これから 優秀な「ひと」を送り出す。「まちとしご よって地域の人材をより多く受け入れ、 経済」を維持できなくなった時に「地方_ されたとしても日本の人口は減り続け ら、「親による子どもへの需要」が満 会で女性が産む平均の子どもの数)は)を瞭然のこととして将来に備えてい 大学進学率を高める。 大学に求められている役割であり、 国立大学としてあるべき経営の 国民希望出生率は1・8です 産業を興し雇用を創 私たちは、 同時に若者を 人口減 若者 出

秋田大学長 澤田 賢一

む大学を紹介します。

人づくり・価値づくりのまちへ。 北九州の未来を見据えた 地域連携型産業人材育成。

Episode 1

九州工業大学

大学をコアに産学連携で邁進する地方創生の成功モデルに向けて

存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。
を存在の国立大学に寄せられる期待は大きい。

九州工業大学

生まれたモラルの高い産学連携事業100年の産業史がある街だからこそ

の高度技術者を輩出し、優れた研究開発で産

を遂げてきた北九州市。その中心として多くであり一大商業拠点としても目覚ましい発展化に大きく貢献している。国内有数の工業都市フォーラム』が2011年に発足、地域の活性めの仕組みとして『北九州地域産業人材育成

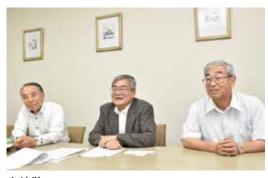
業界をリードしている九州工業大学を訪ねた。

について松永守央学長はこう話す。コール街の衰退につながりかねない。この点中京に行ってしまうという。人材の流出はイるが、同大学の卒業生の約9割は関東や関西、北九州には、モノづくり企業が集中してい



入学をコアに地域と産業界が共に発展するた

そうした中、北九州において産学官協働で、



山崎朖(KPEC専務理事、九州工業大学特命教授)写真左 同志社大学経済学部卒業。西日本産業貿易見本市協会で都市 開発、コンベンション政策を研究。北九州市貿易課長、国際 経済部長、北九州貿易協会専務理事などを経て現職。産業人 材育成フォーラムを主管し、産学官連携を提唱する。

松永守央(九州工業大学長)写真中央

京都大学大学院工学研究科博士課程修了。米国テネシー大学 博士研究員、九州工業大学工学部講師、助教授を経て教授。 2002年附属図書館長・副学長。2006年理事・副学長、2010年 学長に就任。ガバナンスを発揮し、大学改革に取り組む。

鹿毛浩之(九州工業大学理事·副学長、大学院教授)写真右 京都大学大学院工学研究科博士課程修了。九州工業大学工学 部講師、助教授を経て教授。2010年理事・副学長に就任。イ ノベーション推進機構長も務め、産学官連携に尽力する。

ずれの企業からも優秀な人材が欲しいと言わ うことがわかってきました。大学単独で行う は地場の企業のことをまったく知らないとい るべく議論を重ねてきたところ、多くの学生 洞化が進むばかりです。そのギャップを埋め というジレンマがあり、何とかしなければ空 れていますが、 議会)と共同で対応できないかと考えました」 議論ではないので、KPEC(北九州活性化協 - 地域には産業の中核となる企業が多く、 都市部へ出て行く学生が多い (1

もある山﨑朖氏は、 指し、企業や市民の協力のもと市民・団体 よって結成され、同地域の経済4団体を母体 大学・行政などの連携軸として活動している。 にした公益財団法人だ。北九州の活性化を目 (現:TOTO)をはじめ840余社の出資に KPECの専務理事で同大学の特命教授で KPECとは、 (現:新日鐵住金)、 北九州を代表する、 100年の産業史を持つ 安川電機、 東洋陶器 新日本

アクションが生まれたと語る 街だからこそ、こうした非常にモラル の高

言う。同フォーラムの出発点はインターンシッ 鹿毛浩之副学長の存在は大きいと山﨑教授は 携型教育システムの構築を目指すものであり、 堅・中小企業の経営力強化や次世代のイノベー 事業は、地域社会が一丸となり、北九州の中 地域産業人材育成フォーラム」事業がある。同 プ事業だったと鹿毛副学長は語る。 及び行政との連携づくりのキーマンとなった いわば、 ター育成など、産業人材の育成のための地域連 このフォーラム事業の創設にあたり、 そうした KPECの取組の1つに 地方創生の要と言っても良いだろう。 「北九州 大学

いので、 ということは大きなメリットなのです」 があります。 ことを学生に知ってもらうことに大きな意義 「地場に多くの優秀な中小企業があるという 責任感のある言葉を直にいただける 大企業とは違ってトップとも近

インターンシップと社会人教 人材育成に懸ける北九州の未来

学生には、どのような変化があるのだろうか。 ら200余社を選定し自作のインターンシッ だということを学生たちが実感し、 づくりを行った。現在ではその8%以上が事業 プマニュアルCDを制作・配布するなど環境 ラム事務局では地域の製造企業1150社か 真摯に教えてくれる。会社組織はチームプレー に参画している。インターンシップを経験した インターンシップ事業開始に際し、 激変しますね。 まず、会社が自分のために 感動を覚 同フォー

く大きな価値と言えます_ ければと。そうした学生の変化は、 確信する。 えて帰ってくる。そして何より、 んでいることが有効かつ重要だということを もっと一生懸命勉強しよう、 今大学で学 ものすご

生んでいるとも山﨑教授は語る。 を自然な形で推し進める上での大きな成果を の価値観を変えていく一助となり、 る。インターンシップという環境が学生たち 大学では学べないことがそこにはたくさん 教育環境の改善に大きくつながって 地方創

の教育にもなり、受け入れ側にとってのメリッ トにもなっているという。 学生に責任感を持つて接することは従業員

ある。 学がインターンシップと共に推進する社会人 題解決のためのアドバンテージになる。 営課題である。 テーマである。そのための中核専門技術人材 を持ち、 教育プログラムは、地場の中小企業の価値づ くりにおいても大きな意味を持つと言えよう。 育成や海外へ派遣する管理人材の育成も経 北九州の中小企業の多くは海外に事業 中小企業においても研究開発が大きな インターナショナルな活動の素地 社会人ドクターの育成は、 同 課

ある。 たる矜持に曇りはない きた九州工業大学。今まさに地歩を築きつつ 企業と切磋琢磨して人をつくることは、北九 来大企業に成長する可能性を秘めている中小 都市空洞化への1つの回答は人材育成。将 明治より北九州工業地帯発展の礎となり、 の高度技術者を輩出し、 確かな未来を創生していくことにつなが 技術立国・日本を支えてきたリーダー 街と共に歩んで

^(持集)地方創生

専門教育とプロジェクト・ マネジメント教育の融合で 地域を担う次代の イノベーターを育成する。

Episode 2

三重大学



駒田美弘学長

重大学大学院医学研究科博士課程修了。専門は小児 科学。三重大学医学部附属病院小児科講師、助教授、 教授、大学院医学系研究科教授などを経て、2015年



村田吉優さん (修了生 株式会社サイネッ クス社長)産学官協働の 人材育成を推進。



杉浦礼子さん

事業のプレゼンスが高 を取ることで、自分の アカデミックな裏付け

ョンを体験し、自分の 専門性がより高まった 文理融合型イノベーシ



並河有紀さん (在学生 研究科・ 総合バイオサイエンスユニット)

学研究科 研究科長)

小林一成教授

(地域イノベーション

名古屋大学大学院医学研究科博士課 程単位修得退学。専門は植物病理学 三重大学生命科学研究支援センター准 教授、教授などを経て、2013年地 域イノベーション学研究 科長に就任。



坂内正明教授

(地域イノベーション学研究科 副研究科長) 東京農工大学大学院生物システム応 用化学研究科博士課程修了。専門は プロジェクト・マネジメント。日立製 作所を経て、現職。

岸川政之さん (在学生 研究科・

テーマのノウハウを話

先生方が独自の研究

授業が楽しみです してくれるので、毎

講義が多く、課題解決 学部時代と全く異なる

などの考え方が身に付

地域新創造ユニット 皇學館大学現代 日本社会学部特命教授)長年まちづく

中京工業地帯を擁し、産業や人口が密な一方

南部は自然や文化資源はあるものの、県

成果を上げているのが三重大学だ。県北部に

ション」という切り口で諸問題に取り組み、

地方創生を目指し、独自の「地域イノベー

活力ある地域づくりの方針が打ち出されてい

政府主導により、

各地域の自律的な再興と

担当教員とプロジェクト・マネジメント 教育方針に掲げている。研究開発 将来素養が開花できるような人材を地域に輩 の専門性、バックグラウンドを大事にしつつ、 担当教員の同時指導による「サンドイッチ方 ネジメントができる研究開発系人材の育成を を大学院教育に取り入れ、プロジェクト・マ 出していきたいと思います」 います。大学ができることは人材の育成。 適切な方策で活性化につなげたい。産業、 部ではかなり状況が違います。地域に応じた ればなりません。企業、産業も県の北部と南 大学として、持てる力のすべてを注がな 地域イノベーション学研究科」/だ。社会連携 そうした背景から生まれたのが全国唯一の 地域を元気にするためには、 福祉など、地域は様々な分野で困窮して と呼ばれる独特なスタイルも同研究 オ (R&D ール三重 . Р М

地域イノベ ーションに注力

オール三重大学で地域再興を目指す

た駒田美弘氏はこう話す。 かっているのか、今春、 地域が直面している問題にどのように立ち向 る。三重県唯一の国立大学である三重大学が、 内の市町の約半数が消滅可能性都市といわれ

新学長として就任し

地域を元気にするためには、オール三重大

学として、持てる力のすべてを注がなけれ 将来素養が開花できるような人 材を地域に輩出していきたいと思います

究科の小林一成研究科長は語る。

設から携わっている地域イノベーション学研 身の手で地域を守っていく必要があると、 科の特長の1つだ。

県南部の危機回避について、若者が若者自

創

ション学を地域社会と連携して地域活性化の 野にプラスアルファがあってこそ地域の問題 が大きな特徴です。工学、農学などの専門分 を解決していけると考えます。地域イノベー を対象にした独立研究科で、学部がないこと ための方法論を見出す学問と定義しています」 - 本研究科は専門性と社会連携の志を持つ人

何かと何かを「つなぐ」ことで イノベーションが生まれる

えて言う。 むことだと小林研究科長は駒田学長と口を揃 なく、何かと何かをつなげて新しい価値を生 「イノベーターの資質は科学や技術だけでな イノベーションとは新しい技術の発明では

はマッチングを積極的に進めています。今後 いくことも必要です。独創的な発想、モチベー の企業のニーズを相対させる社会連携などで は大学の技術やアイデアなどのシーズと地場 ターだと思います。本学地域戦略センターで か、どう機能すべきか。駒田学長はこう話す。 先生方にも入っていただいて改組しました」 難しいのではないかと考え、そうした分野の く、人文社会科学的視点がないと社会連携は 「産学官連携はどこの大学でも重要なファク 知の拠点として同大学は今後どうあるべき 発想の段階から連携し、お互いを育てて

> ションの高い自由な研究活動が担保された中 るのではないでしょうか」 想ですし、それでこそ本当に良いものができ で、企業との共同研究が生まれてくるのが理

それだけでは不十分とも駒田学長は言う。 良いことだが、地域の活性化や地方創生には 働く場所として工場や企業が増えることは

問題解決への手法とアプローチを育成 新教育システムで

究科長に訊いた。 のなのか、PM担当の坂内正明同研究科副研 前述のサンドイッチ方式とはどのようなも

惑います。実は、そこを伸ばしていきたい」 の中のどの分野に役立つか、ということです。 問うのは、あなたが携わっている研究は、世 このような視点ですと、たいていの学生は戸 方針は特徴的かもしれません。 PM が学生に 時に指導するのですが、特にPM教員の指導 「1人の学生をR&DとPMの双方から同

積極的だ、と坂内副研究科長は言う。 して起業や新規事業の創生に向けた活動にも 感性が養われる。地場の企業との共同研究の 時間の制約の中で、実際の事業にどう組み込 の。たとえば企業が新規事業を立ち上げる場合 徴的なものに OPT教育(On the Project 他、県や国のプロジェクトに企業と共同申請 んでいくのかを肌で感じ、実践を積むことで んでPMの現場を体感するという実践的なも ついて徹底的に学ぶと言う。もう1つの特 Training) がある。学生が実際に社会に入り込 課題解決への考え方、アプローチの手法に

> 掛人でもある岸川政之さんは「自分のやって と育成されている。 資源学を地域に活かしたいという並河有紀さ 成長させた村田吉優さん、4年間学んだ生物 える杉浦礼子さん、官民協働事業で会社を急 務を活かし、短期大学でマーケティングを教 と入学。他にも地元銀行シンクタンクでの業 きたまちおこしをもっと論理的に学びたい」 ドラマにもなった「高校生レストラン」の仕 んなど、地域創生に向け、優秀な人材が次々 受講する学生も様々だ。役場の元職員で、

にこう語ってくれた。 した意識変革について、 地域イノベーション学研究科創設がもたら 小林研究科長は最後

ように思います」 として、地方創生に向け、うまく流れている ションを考えるようになり、オール三重大学 研究科も生まれました。各部局も地域イノベー おっしゃる。本来そのような考え方のもと本 だった。研究の方向性が変わった』と皆さん こととはどういうことなのかを考えた6年間 ていく教員に話を聞くと、『地域のためになる 取っていますが、任期を終え、所属学部に帰っ たのは、実は教員かもしれません。任期制を 「学生はもちろん変わりますが、一番変わっ

こうした素養は、同大学はもちろん、三重県 目指し、着実に成果を上げている三重大学。 ターとして核となりうる人材を育て、地域イ ことは素晴らしい福音だろう。将来のイノベー 究科の存在でそうした流れが自然に促された にとっての宝といえよう。 ノベーションを起こす気運のボトムアップを 意識改革は並大抵なことではないが、本研



撮影/鈴木理策

ける国立大学の役割はこれからもつ ことが重要になると思います。地方にお

高知県知事

尾﨑 正直

高知大学長

対談

脇

部があると、若者たちが地方に残れ 地方に残ってもらいたい。また地方に 県外に出て行く若者が多い中、やはり ズ、社会のニーズに合った魅力的な学 の両面を満たすような、 新たな若者を惹きつけていきたい。こ は国立大学に対する期待感がすごく 尾崎:問題というより、むしろ地方で つあると思います。第1に進学を機に 大きいと思うんです。期待の方向は3 若者のニー

> 減少、高齢化が進む中で、様々な課題 がますます高まると思うんです。人口

そして第3に、社会人教育のニーズ

会人が学び続けられる体制をつくる に対応していかなければならない。社

そして社会人教育の充実 魅力ある学部、産学官民連携、 国立大学に期待するのは3つ。

しょうか。 き役割を知事はどのようにお考えで 問題が起きていて、国を挙げて地方創 過疎化による地域の衰退など様々な 学、特に国立大学の問題点、果たすべ 生に取り組んでいますが、その中で大 **脇口**:現在、我が国では少子高齢化や

て、外からもやってくることができる ようになるわけです。 第2に、産学官民連携のニーズは、

が整っているかというと、正直苦戦し 開発、人材育成など、そのための体制 求められているわけです。しかし研究 地方において非常に大きいと思って ることで、初めてスケールの大きな仕 が個々の得意分野を活かして連携す 商』、地域から外に打って出る仕事が います。地方の中小零細企業は、地域 事ができるようになると思います。 ているところが多い。やはり産学官民 経済が縮小する中で、むしろ『地産外

国立大学にある。

産学官

む

7

疲弊する故郷に活力を取り戻そうと財務官僚を辞し、高知県知事に立候補した尾崎正直氏。 全国最年少知事と話題になってから8年、県勢浮揚のために精力的に活動を続ける。 片や地域の課題解決のため人材育成に励む高知大学の脇口宏学長。 人口減少や経済の低迷など待ったなしの状況にある地方を、大学の力を活かして どのように再生するのか――官と学、それぞれのトップに語っていただいた。

> 社会全体で認識してほしい 大学の果たす役割の大きさを 地域の課題解決に向け

立大学を活かすべきだと思います。 と拡大してくる。ぜひ世の中全体で国

思っています。 地域の市町村に移り住んでも、子ども をしっかりすることが義務であると 持っている大学として、高知県の教育 地域の再生は難しいので、教育学部を 戻らなければいけなくなる。それでは が小学校に入る頃になると、高知市に います。特に重要なのが教育。若者が どもの教育、そして刺激が必要だと思 のことで、そこにいる高齢者にも希望 から人口の多様性をつくり上げる。そ 送り込むことによって、人為的でも良い ても地方の再生はあり得ない。若者を 性が失われては、いくらテコ入れをし 若者がいなくなったこと。人口の多様 **脇口**:まったくそのとおりだと思いま と活力を与えることができるんです。 若者が地域に残るためには、職と子 。現在の地方の衰退の一番のもとは

て、将来もつと大規模になると高知県 人も増えてきましたので、さらに進め の学び直しの機会になり、産業化する 付けさせていただきましたが、社会人 佐MBA」(注2)のカリキュラムに位置 FBC」(注1)を知事が始められた「土 産学官民連携についても、「土佐

> で賞をお取りになったんですよね。 まれる中で、それを力強く後押しする 取組だと思うんですよ。社会人の皆さ 受け入れて、かつ実践的な講座を展開 を受け入れますからどうぞ、だけでは 考えていただかないと、大学が社会人 や地方の産業界の皆さんにも一緒に を辞めて大学へ入り再就職するのは 課程は、非常に良いと思います。「イ んが日々自己実現を目指して取り組 されたということで、全国に先駆けた の取組は、大学でありながら社会人を 尾崎:そういう意味では「土佐FBC_ 済まないところがあると思うんです。 大変難しいのが現実です。その点を国 はとても大切だと思うんですが、会社 すよね。改めて大学や大学院で学んで きが激しく、情報が多くなると、昔学 ノベーションネットアワード」(注3) 「土佐 FBC」のような実践的な教育 いただき、再度活躍していただくこと んだことはあまり役に立たないんで だと私も思います。これだけ社会の動 また、社会人の再教育も非常に重要

捉えられるようになってくれればと 激しい時代、学び続けなければならな ということを、社会全体の問題として い時代に、膨大な社会人層に対して るという問題に留まらず、この変化の 大学として果たすべき役割は大きい 少子化という単に入学生の数が減 の再生に寄与できると考えています。

をしやすい環境が絶対に必要だと思 性や育児をしている若い夫婦が仕事 **脇口**:地域の人口を増やすためには女

るか、またそれを皆で支えるような世 や30歳を超えようとしています。です 産年齢は平均年齢2歳です。それが今 あると思うんですね。 化問題には2つ大きな社会的背景が ことをいかに社会全体として応援す から若いうちに子どもを生み、育てる くなっている。昭和4年代の第1子出 1つは第1子出産年齢が非常に遅

地方創生につながり、 地方の大学を充実させることが 少子化問題解決への糸口となる

2050年代には1.から1.人で1人 うんです。子どもの病気で仕事を休ん 社会保障負担が大変なのに、本当に若 代が来ると言われています。今でさえ の高齢者を支えなければいけない時 す。今、現役世代が2.から2.人で1 の日本にとって極めて大きな問題で 尾崎:少子化問題というのはこれから が未だにあります。 だりすると、大変働き辛いという環境 い人たちは耐えられるのか。この少子 人の高齢者を支えているわけですが、

低い東京に若者がどんどん集中して の中をいかにつくっていくか。 から考えても、比較的子育て環境が充 いるという問題です。この2つの問題 そしてもう1つは、出生率が極端に

脇口:少子化対策は、ブラックホール 化問題のキーワードだと思いますね。 会全体として大きな構造転換を促し を挙げて取り組むべき課題ですし、社 尾崎:少子化対策は、国も地方も総力 れば、人口の回復が始まると思います。 を感じ成長していくような環境にな を助けながら、若者が地域にやりがい べきだと考えています。地域が子育て 状態の東京ではなく、地方から推進す ることができるかということが、少子 実していて、ある意味、子育てに優し す。若者が進学の際に地方に残れる、 す役割は二重三重に大きいと思いま すが、そういう中で地方の大学が果た ていかなければならないと思うんで い環境にある地方に若者がいかに残

> です。そういう諸問題の結実点に地方 子化問題への解決にも繋がると思うん ることのみならず、国全体としての少 に若者を残し、それが地方創生に繋が 地方の大学を充実させることが地方 整っている必要があると思うんです。 涯学び続けることのできる環境が のためにも産学官民連携の仕組み、生 るような、より高度な仕事がある。そ さらには残った先に若者の志を叶え 大学の存在意義があると思うんです。

地域全体を俯瞰するKICS。 地域振興に貢献する コーディネーターが常駐し、

尾崎:地方創生や地域活性化の仕事を



大学医学部卒業。1981年医学博士(岡山大学) 、材育成のための大学改革の先頭に立つ。

けていくと高知にどういう影響が及 ばならないと思うんですね。地方の大 全体での視点が必要で、どこに働きか の繋がり、外国との繋がり、そういう 仕事をさせていただくことができれ 学には先生方が一歩引いた視点で、全 ぶかという全体像が把握できなけれ な構図があり、そういう方々と一緒に 体の社会システムを研究されるよう

され、地域の良さを外に売り込むため 様々な地域アクションプランが推進 するような先生方の視点が加わった の実施にあたり、システム全体を俯瞰 地域の課題解決、 の先生方にご協力いただいています がいて、その横に手を携える形で大学 の「地産外商」プロジェクトをスター の取組の中で、それぞれの地域ごとに 域の取組を応援する地域支援企画員 トさせているわけですが、そういう地 だいています。高知県の産業振興計画 (UBC)の先生を大学から派遣いた 今、高知大学地域コーディネーター 新しいプロジェクト

題を解決するためには、例えば東京と 点に没入してしまうきらいがあると ないと思うのは、やはり高知だけの視 している時に、気をつけなければいけ いうことです。でも実際は、高知の問

脇口:それにつきましては県の事務所 ているのではないかなと思います。 おかげで、ずいぶん良い影響が出てき

いかと思っています。 上のことが発揮できているのではな を教えてもらったりしながら、実力以 彼らも県の方と一緒に知らないこと は見られないのではないでしょうか。 す。このような関係は他の県・大学に わせていただき、大変感謝しておりま を、私どもの UBC の事務所にも使

ションができていると思いますね。 践の場という意味において有意義で 義だと思います。手前味噌で恐縮です 野狭窄に陥らないために非常に有意 ていただくことは、我々にとっても視 はないかと思います。いいコラボレー が、先生方にも学問に留まらない、実 たり、大学の先生方とタイアップさせ **尾崎**:地域の産業振興に取り組むにあ

待感が高いのが「KICS」(注4)の

ると思うんです。その意味で非常に期 像を把握する仕事ができるようにな

私も、もう1つ高い視点で全体

事業です。

地域と共に学び・考え・行動する 学生の頑張りが大きな力となる。 地域協働学部

たんですよね。大学の先生方が地域で みですね。 度は新たな地域貢献ができる学生さ 貢献していただいた素地を活かし、今 協働学部」という学部に展開していっ 尾崎:この KICS の事業が「地 んの教育に繋がっていく。これは楽し

脇口:「地域協働学部」は地域の人た



尾崎 正直 (Masanao Ozaki)

1967年高知県高知市生まれ。1991年東京大学経済学部卒業後、大蔵省(現財務省)に入省。在インドネシア大使館一等書記官、財務省主計局主計官補佐、理財局計画官補佐などを歴任。内閣官房副長官秘書官を経て、財務省を退官し、2007年11月25日の高知県知事選挙に自由民主党、民主党、公明党、社会民主党の推薦で立候補し初当選。全国最年少知事として話題となる。2011年11月の知事選挙に再出馬し、無投票再選。教育再生実行会議委員、内閣府子ども・子育て会議委員、全国知事会理事なども務める。財務官僚の実績を活かし、高知県の再生に尽力する。

地方の再生に挑む「ココプラ」。県、大学、企業を繋ぐ「ココプラ」。

重要ですし、高知県の再生の足掛かり生の頑張りが大学にとっても非常に材を育成します。まだ微力ですが、学解決のための地域リーダーとなる人ちと共に学び、共に考え、地域の課題

になればと思っております。

性組み、商品を生み出す原動力となった間で、 に向けた連携の在り方として、県で 「ココプラ」(高知県産学官民連携センター)をつくっていただき、大学も をなチャンスをいただいておりま すが、この「ココプラ」についての抱 をお話しいただければと思います。 どをお話しいただければと思います。 どをお話しいただければと思います。 に向けた連携の在り方として、県で に向けた連携の在り方として、県で に向けた連携の在り方として、県で に向けた連携の在り方として、県で

も、学生さんたちの新しい発想を求めかないですよね。フィールドそのもの践的学びができるフィールドには事欠現場に常駐しておられる状況下で、実**尾崎:**地域コーディネーターの先生が

待していますし、逆にこの学部の教員

な力を発揮するようになることを期ていると思うんです。この学部が大き

が県外から来てくださればいいですね。

になりたいと、多くの研究者の皆さん

は、将来のビジネスや課題解決に繋がるシーズとなりうる研究をしているわるシーズとなりうる研究をしているわは、ビジネス界の皆さんとの連携が非は、ビジネス界の皆さんとの連携が非常に重要だと思うんです。しかし、中常に重要だと思うんです。しかし、中常に重要だと思うんです。しかし、中常に重要だと思うんです。しかし、中常に重要だと思うんです。したとうないをつくろうということでありません。実際各大学の先生方でくれればと。実際各大学の先生方でくれればと。実際各大学の先生方で

けていきたいと思っています。
対っていきたいと思っています。
場関や政府研究機関など様々な方に
特っていただいています。県内外から
持っていただいています。県内外から
があるが、出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その
で新しい出会いの場を創出して、その

らせていただきたいと思っています。 ですから、ガッチリ連携させていただ で地域活性化の仕事をしているわけ ですが、地方にあって我々と一体と 良いのではないかと思っております。 場所にも使わせていただけると大変 産業界の皆さんとお互いを知り合う ています。その辺を学生たちも一緒に 県内に若者を残していけるかを考え と産業おこし、就職など、いかにして や産業界の皆さんと一緒に教育改革 現在 COC プラス(注5) として、県 **脇口**:我々大学もできるだけ一緒にや と思います。我々も県の産業振興計画 なって仕事をさせていただくことで **尾崎:**国立大学は、ある意味国の機関 大きな相乗効果を生むことができる

ので、是非よろしくお願いいたします。県は必ず再生すると信じております添って知恵を出し合っていけば、高知**脇口**:お互いが手を握りあい、寄り

が産官民と連携して始めた事業。 が産官民と連携して始めた事業。

が産官民と連携して始めた事業。 か産官民と連携して始めた事業。

ぎする事業。
ぎする事業。
がおび、高知県が実施するビジネス研修。

くことで、より良い相乗効果を生み出

していきたいと思っております。

直売する「滋賀大マルシェー

「滋賀大マルシェ」。多くの地域の人々で賑わう

「環境こだわり農産物」の普及に努める滋賀県。 滋賀大学社会連携研究センターでは、こだわり農 産物の認知を高め、農業・アグリビジネスの持続的 な発展に貢献しようと、環境と安全に配慮して作 られた農作物を大学構内で直売する「滋賀大マル シェ」を定期的に開催している。 年6回程度の開催 日には、季節ごとの新鮮野菜や工夫を凝らしたス イーツなどの加工品が並び、生産者と消費者が会 話をする光景があちこちで見られ、地域住民にも 大人気の恒例行事となっている。

企画運営は経済学部の学生を中心とした、滋賀 大学農業ビジネス研究会。学生たちは生産地への 訪問や販売に携わることを通じて、農業の奥深さ や面白さ、大変さを実感している。県内初、全国 でも大変珍しい取組として、評価されている。

環境こだわり農産物を

Discovery

 \mathbb{Z}_a

tional

nivers

滋 賀 大

生き物を捕まえて観察しよう」の様子 わんぱく体験団」の活動「田嘉里川の

大学では、21世紀型市民や地域活性化を牽 元と密着し 引する高度専門人材の育成を推進。地(知)の 育成活動 拠点整備事業「ちゅら島の未来を創る知の津 梁」事業の一環として取り組む「地域の輪で育 む子ども支援プロジェクト」では、教職を目指 を す学生たちの実践的活動の場として、保護者 や地域の人々と協働し、子どもたちの生きる 力と学習意欲を育む活動を展開している。 教育学部では、国頭郡大宣味村の教育委 す 員会と連携して、「学び舎あじまぁ」を立ち上げ、 体験学習講座である「わんぱく体験団」や子ど

地域活性化の拠点となることを目指す琉球

もの居場所づくりを目指す「わくわくチャレン

ジサタデー」「どきどきサマーホリデー」などを

開催。豊かな自然環境を活かした活動に村内 小中学生の約半数が参加し、学校外での学習

機会の拡充に貢献している。

琉 球 大 学

地

域

活

性

祀

の

拠

点と

演劇・映画を通して世界の生活や 文化を紹介する「語劇」と「TUFSシネマ」



2014年「語劇」のフィナーレ。毎年多くの観客を魅了する。

東京外国語大学・

ユニークな各国料理店と 「語劇」で知られる東京外国語大 学の学園祭「外語祭」。このうち「語劇」は27の言語で演劇 が上演される。その始まりは1900年。同大学の前身であ る東京外国語学校のもとで8語劇が行われ、各国大使や 皇族も参観したと記録される。セリフはすべて各国語だが、 舞台の脇に字幕が流れ、内容がわかるようになっている。

文化的教育活動に力を入れる同大学では、演劇に加えて、 教育に映画を活用。「TUFSシネマ」を設置し、映画配給会社 などの協力で、世界各地の映画上映や映画監督によるトー クイベント、在学生による字幕制作などを行っている。映 画を通してその地域の歴史·文化·言語·表象を学ぶとともに、 地域の人々に世界の生活や文化を広く紹介する。「語劇」同様 一般公開され、多くの市民に利用されている。

• 新潟大学

新潟大学の、五十嵐キャンパスにある中央図書 館は、2013年に大きくリニューアルした。

館内には学生の自主的・共同的学修を支援する 「ラーニング・コモンズ」機能を整備。可動式の机・ 椅子、ホワイトボードなどを備え、学生同士が会 話しながらグループで学習できる環境を提供する。

学生・教員、地域の人々、高校生などが気軽に利 用でき、カフェも併設した「インフォメーションラウ ンジ」の他、50万冊収容可能な自動化書庫を設置 し、アーカイブ機能も充実。図書は18歳以上の一 般市民にも貸し出している。リニューアル以降、年 間100万人以上が訪れ、全国の国立大学でも有数 の入館者数を誇る。同大学附属図書館は、学生の みならず地域の学びに貢献していく。

ラーニング・コモ明るく開放的な ーング・コモンズ



グ・コ Ē 央図 ンズで自 的学習をサ ポ

トす

立

岩手大学

岩手大学では滞在型生涯学習事業として、毎年 シニアカレッジを開催。「学びたい」という動機があ れば誰でも参加可能で、年齢制限や入学試験は ない。期間中毎日通学して授業を受け、学生食堂 や図書館も利用できる。カリキュラムは岩手大学 の研究成果と「いわて」の地域性を加味した内容で、 キャンパスを飛び出す学外授業も行っている。

2014年度は9月に7日間の日程で行われ、「三陸 ジオパーク」をテーマに、多様な地質やリアス式海 岸、鉱物資源、震災遺構など三陸の豊富なジオサ イトに触れながら、防災についても学ぶ授業が組 まれた。受講者は北海道から岡山県までの33名。 リピーターが多く、その評判の高さが窺える。今後 も「岩手大学シニアカレッジ」では、向学心を満た したい受講生を待ち望んでいる。



学べる、

学び直せるという楽しみを提供する

岩手大学シニアカレッジ」

平日は大学教員による英語指導のプログラムを 開催し、フリータイムには海外研修や海外留学、 留学生との交流を楽しみたい学生たちが集まって、 自由に英語で意見交換を行っている。「クリスマス ビンゴ」や「フェアウェルパーティー」など季節に合 わせたイベントも開催。今年度は、TOEIC S&W テスト、英語プレゼンテーション大会を実施す る予定で、グローバル教育を支援する施設として、

香川大学「OLIVE SQUARE | 2階の「イング

リッシュカフェ」は、学生が実践的な英語による コミュニケーション力を身に付ける場所として、

2014年にオープン。ガラス張りの明るい室内には

英語書籍、雑誌、コミック、DVD、パソコン、TVな

どが置かれ、飲食や携帯電話の使用も可能で、リ ラックスした環境で英会話を楽しむことができる。



様々に活用されるイングリッシュカフェ。

小樽商科大学。

さらなる活用が期待される。

小樽商科大学では、学生が能動的に授業に参加し学修 する「アクティブ・ラーニング」を取り入れ、学生の知識・経 験・応用など汎用的能力の育成を目指している。少人数教育 (20~30名)ではICT機器、グループワーク、ディスカッ ションなどで課題解決能力の育成を目指し、大人数教育 (100~200名)では、LMS(学習管理システム)、タブレッ トを使った双方向授業を展開し、学生の意見を即時に授 業に活用する座学形式のアクティブ・ラーニングを実践して いる。ここで培われた教育方法は今後、地域の初等·中等· 高等教育機関に応用することが検討されている。

2014年には、附属図書館の2階を会話やディスカッショ ンができる「アクティブラーニングエリア」に改修。連日学 生が活発に討論・発表する姿が見られ、セミナーや展示会 にも活用されている。



-ニングエリア」で賑やかな討論が展開される。

学長と行く合宿で 人間力」強化を目指す

国指定重要文化財・岩瀬家の合掌造を見学する。



金沢大学が始めた「学長と行く合宿シリーズ」がよ りパワーアップ。2015年度から、スーパーグローバ ル大学創成支援事業の取組の一部、「地域『超』体験 プログラム」として本格始動する。

合宿は、己を鍛え、己を磨く学生生活を送るため に、仲間と苦楽を共にし、知力·精神力の重要性、多 様な価値観の存在、社会の構成員であることを認識 することを目的としている。山崎光悦学長の指導の もと、2泊3日で座禅体験や学長講義、郷土芸能体 験、民泊体験などを実施する。中でも民泊では食事· 掃除の手伝いのほか、宿泊先の人々と語り合い、地 域の文化や暮らしぶりへの理解を深める。これらの 体験を通し、学生たちは社会で求められる総合的な 能力、「人間力」を強化していく。本年度は石川県と富 山県内の4か所を舞台に実施する予定だ。

金 沢

学生の主体性、 アクティブ・ラーニング」を展開 造性を育む

学生が一丸となり、 岩手大学では震災以来、教職員と んが所属する天然物生化学研究室 で復興活動を続けている。清水さ 被害を受けた三陸海岸北部にあり、 を受賞した。 久慈市は東日本大震災で壊滅的

、様々な切り口

プの活動を紹介します。

をもらって喜ぶ小学生たち。

び軍手ィ」を製作し、地域の子ど 地域を活性化させたい」という思 くの子どもたちに喜んでもらって いから、「軍手ィ」の売り上げで「ち

製造・販売したものだ。 と、オリジナルデザインの軍手を く元気な笑顔の花を咲かせよう_ を暖かく、街を華やかにし、明る 市にショップを立ち上げ、「寒い冬 献活動として学生自ら地元・上田 ト」が注目を集めている。地域貢 よる「ハナサカ軍手ィプロジェク 信州大学繊維学部の学生有志に

プロジェクトでは、「1人でも多

もたちに寄贈。活動は年々拡大し、 価され、2011年、「第7回キャ 災被災地の受験生に「合格祈願軍 たちや、長野県北部地震で被害を 医学部附属病院へ入院中の子ども 手ィ」を寄贈するなどの取組が評 受けた栄村の小学生、東日本大震

地域や子どもたちに笑顔の花を咲かそう!

オリジナルデザインの軍手で

2014年には、イギリスの国際 本選手団の公式手袋に採用され、 クーバー・パラリンピックで日

ントレプレナー賞を受賞した。 ンパスベンチャーグランプリ東 京」ビジネス部門のソーシャルア 軍手ィは2010年のバン 的見本市「テントロンドン」にも出 展。現在、上田市を中心に長野県 るようになることが目標です」と ごく面白い。『上田市のお土産とい の菅駿一さんは「軍手ィを通して、 学 · 材料系機能高分子学課程4年 えば、軍手ィでしょ!』と言われ ケーションが生まれることが、す 地域社会とのつながりやコミュニ 全域で販売されている。 嬉しそうに話す。 プロジェクト代表の繊維学部化

世界に羽ばたこうとしている。 学生たちの思いが地域を繋ぎ

三陸のロマンあふれる久慈産琥珀の研究で

久慈産琥珀に唯一含まれる新規 では、地域特有の天然資源から新・(クジガンバロール)やその抽出 抗アレルギー物質 kujigamberol の生物活性を調査・研究してきた。 されていることに着目し、太古の 抗がん剤などの医薬品が実用化 域創生と震災復興に貢献してきた。 明して実用化を目指すことで、地 たな機能性を見出し、科学的に証 いかと考え、世界に先駆けてそ な生物活性物質があるのではな ヒトの疾病の予防や治療に有効 植物樹脂の化石である琥珀にも、 清水さんは現存する植物から 信できる研究に関われてやりがい

物活性物質を発見し、岡山で開催 ら抗アレルギーに関わる新たな生 栄作さんは、地元の久慈産琥珀か 生物化学専攻修士課程2年の清水

岩手大学大学院農学研究科応用

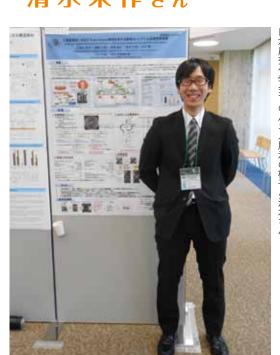
震災復興への貢献を目指す!

会」の全国大会で、トピックス賞 された「2015年日本農芸化学

> エキスにも、市販の医薬品より の受賞となった。 ことを動物実験で実証し、今回 も強い抗アレルギー効果がある

復興への貢献という目標が、 があるとともに、学生の間に商品 いよ現実になりそうである。 計画されており、研究による震災 年中には化粧品としての商品化が と決意を新たにする清水さん。今 化に協力して地元に貢献したい. いよ

「県独自の天然資源で世界へ発



日本農芸化学会でのパネル展示の様子と清水さん。

13

「無いなら作ればいい!」 地域と学生を繋ぐ古本屋を

1

モト冬の本まつり」を開催した。 委員会を立ち上げて古本回収を 中を本で面白くしたいと、実行 作りを発案。せっかくなら大学 受けた太田さんは、自ら古本屋 町に古本屋が無いことに衝撃を 入学後、大学のある室蘭市水元 間限定で作ったのは「古本屋」。 系学科4年の太田哲平さんが期 蘭工業大学工学部建築社会基盤 お気に入りのテーマ・ジャンル 2015年初春、「ミズ

学内で古本回収を試みたが、な 2月末、3月末と連続して大学 レスリリースを作成。新聞に記 かなか集まらず、太田さんはプ 内に「水元古書堂」を開店。当初、 ソン」の広報サポートなどに続き、

水元古書堂は古本をお金で買

動を停止した。回復後も本格的な 学4年の時、県大会の100mで 取り組む富山大学医学部医学科5 陸上復帰は難しく、インターハイ 学後、深刻な体調不良で数年間活 1位になったこと。しかし高校進 年の宮澤有紀さん。きっかけは小 こうした辛い経験から医師を目 課外活動で陸上競技100mに ある杉谷キャンパス内の競技場や 合わせた効率性の高いメニューで ニューと筋力トレーニングを組み トレーニングルームで、 個人選手権大会女子100mで3 に練習し、先生の指導を受ける。 100人を超える陸上仲間と一緒 練習。土日には五福キャンパスで 2014年の日本学生陸上競技

「第83回日本学生陸上競技対校選手権大会」での宮澤さん。(中央手前)

果が表れたのが第20日本学生陸 習メニューの改善を図る。その成 とができたため、走法を変え、練 際、これまでと違う感覚で走るこ まれたレースで11秒0を出した 位に入賞。その後、追い風に恵

指し、医学部に進んだ宮澤さん。

にも出場できなかった。

制約が多いため、普段は医学部の

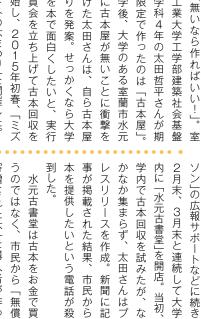
ることに決めたという。時間的な がトラックに向き、再び陸上をや 学業に専念するものの、自然に足

> るなど躍進を続けている。 選手権大会女子100mで優勝す 2015年日本学生陸上競技個人 決勝で2位となった。 m。準決勝で自己記録を更新し 上競技対校選手権大会女子100 陸上競技生活で得た、工夫して その後も

きたい」と思いを語る。 医師になるための努力も続けてい 競技に励みつつ、並行して病に苦 澤さんは「残りの学生生活は陸上 を持って、医師への道を進む。 とことん突き詰めようとする姿勢 向上していく術、やると決めたら しむ人に最適な医療を提供できる

陸上と医学に挑む 武両道の医学生

さん



人、しおりを受け取った本の寄 が集まり、会場でしおりを見た ム。多種多様で個性的なしおり た「しおり」で買うというシステ 寄贈された本」を購入者が作っ うのではなく、市民から「無償

に作り出すものは、

果たしてど

んなものだろうか。

の誇りです」と語る太田さん。次 室蘭に貢献できたのは僕の一生

ている読書推進活動「読書マラ

の本をレシピに沿って紹介する

「読書のレシピ」、大学生協が行っ



本を集めた「水元古書堂」店主の太田さん。 学術書から小説、詩集、コミックなど、幅広いジャンルの



国立大学 vol.38 September 2015

編集・発行/一般社団法人 国立大学協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 TEL:03-4212-3506

表紙:高知県知事 尾﨑正直

撮影:東京藝術大学 美術学部准教授 鈴木理策

